

## 中井和夫先生 業績一覧

### 著書

- 『ソヴェト民族政策史』, 御茶の水書房, 1988 年 9 月, 401p.  
『ウクライナ語入門』, 大学書林, 1991 年 6 月, 213p.  
『多民族国家ソ連の終焉』, 岩波書店, 1992 年 8 月, 63p.  
『ウクライナ・ナショナリズム』, 東京大学出版会, 1998 年 11 月, 273p.

### 共著

- 『連邦解体の比較研究』, 柴宜弘, 林忠行と共著, 多賀出版, 1998 年 2 月, 260p. 第 1 章「連邦制と連邦主義」pp. 3-17, 第 2 章「ソ連」pp. 19-56, 第 5 章「連邦の将来」pp. 149-157, を分担執筆.

### 共編著

- 『ポーランド・ウクライナ・バルト史』, 伊東孝之, 井内敏夫と共編, 山川出版社, 1998 年 12 月, 434p, 第 3 章「キエフ・ルーシ」pp. 96-114, 第 4 章「貴族の共和国とコサックの共和国」pp. 156-174, 第 6 章「近代民族の成立」pp. 233-250, 第 8 章「ソヴィエト時代のウクライナとバルト諸国」pp. 303-340, 第 10 章「独立と民主化の時代」pp. 413-422, を分担執筆.

### 論文

- 「ウクライナの革命」, 『歴史学研究』, 424 号, 1975 年 9 月, pp. 1-18.  
「ウクライナ共産党の形成」, 『歴史評論』, 306 号, 1975 年 10 月, pp. 48-65.  
「ウクライナ革命史の研究によせて」, 『ロシア史研究』, 24 号, 1975 年 10 月, pp. 18-33.  
「戦時共産主義からネップへ」, 『経済評論』, 24 巻 12 号, 日本評論社, 1975 年 11 月, pp. 98-111.  
「ウクライナ革命における共産主義者」, 『歴史評論』, 327, 328 号, 1977 年 7, 8 月, pp. 53-62, 61-71.  
「穀物をめぐる二つの道」, 『ロシア革命論』, 菊地昌典編, 田畑書店, 1977 年 11 月, 384p, pp. 129-170, を分担執筆.  
「Soviet Agricultural Policies in the Ukraine and the 1921-1922 famine」, *Harvard Ukrainian Studies*, v. VI, Number 1, March 1982, pp. 43-61.  
「東ハリチナ 1918-1919」, 『歴史学研究』, 513 号, 1982 年 2 月, pp. 9-28.  
「ドラホマノフ覚書」, 『ロシア史研究』, 38 号, 1983 年 11 月, pp. 2-43.  
「ウクライナ化政策」, 『スターリン時代の国家と社会』, 溪内謙, 荒田洋編, 木鐸社, 1984 年 9 月, 295p, pp. 106-156, を分担執筆.

- 「うそからでたまこと——ウクライナの偽書『イストーリア・ルーソフ』」、『ロシア史の新しい世界』, 和田春樹編, 山川出版社, 1986 年 10 月, 359p. pp. 19–35, を分担執筆.
- 「最近の民族問題」, 『ゴルバチョフの社会改革』, 外務省欧亜局ソヴィエト連邦課, 1988 年 3 月, 155p, pp. 93–106, を分担執筆.
- 「民族と宗教」, 『もっと知りたいソ連』, 袴田茂樹編, 弘文堂, 1988 年 11 月, pp. 184–204, を分担執筆.
- 「Shevchenko v Japonii」, *Suchasnist'*, Number 335, March 1989, pp. 40–47.
- 「第三のウクライナ化」, 『海外事情』, 37 卷 4 号, 1989 年 4 月, pp. 37–50.
- 「ウクライナにおける言語と教会」, 『現下ソ連の民族問題』, 外務省欧亜局ソヴィエト連邦課, 1990 年 3 月, 176p, pp. 56–68, を分担執筆.
- 「ウクライナ——静かな弟?」, 『分裂するソ連』, 山内昌之他 3 名との共著, 1990 年 9 月, 250p, pp. 72–112, を分担執筆.
- 「ウクライナ民族運動の系譜」, 『ソ連研究』, 11 号, 1990 年 10 月, pp. 71–91.
- 「ユニエイト教会への道」, 『危機の〈社会主義〉ソ連』, 原暉之, 藤本和貴夫編, 社会評論社, 1991 年 1 月, pp. 181–199, を分担執筆.
- 「1990 年のウクライナ」, 『現下ソ連の民族問題Ⅱ』, 外務省欧亜局ソヴィエト連邦課, 1991 年 3 月, pp. 105–116, を分担執筆.
- 「ソ連邦とウクライナ」, 『ベレストロイカ』, 高田和夫編, 九州大学出版会, 1991 年 4 月, 280p, pp. 243–257, を分担執筆.
- 「Shevchenko v Japonii」, *Svit Tarasa Shevchenka*, Shevchenko Scientific Society (New York), 1991, 488p, pp. 450–457, を分担執筆.
- 「ウクライナ：主権宣言から独立宣言へ」, 『海外事情』, 39 卷 12 号, 1991 年 12 月, pp. 43–59.
- 「ウクライナにおける分離と独立」, 『ソ連研究』, 14 号, 1992 年 4 月, pp. 109–127.
- 「ウクライナ——ロシア離れと権威主義への移行」, 『国際問題』, 386 号, 1992 年 5 月, pp. 16–29.
- 「ウクライナ：独立の 1 年」, 『旧ソ連の地域別研究』, 日本国際問題研究所, 1993 年 3 月, 41p, pp. 32–41, を分担執筆.
- 「CIS とウクライナ」, 『国際政治』, 104 号, 1993 年 10 月, pp. 99–116.
- 「『新東欧』の登場」, 『二十一世紀の民族と国家』, 山内昌之編, 日本経済新聞社, 1993 年 10 月, 303p, pp. 92–97, を分担執筆.
- 「東スラヴのアイデンティティ」, 『ヨーロッパのアイデンティティ』, 樺山紘一, 長尾龍一編, 新生社, 1993 年 10 月, pp. 95–111, を分担執筆.
- 「独立のディレンマ：ウクライナの経済・内政・外交」, 『旧ソ連の地域別研究』, 日本国際問題研究所, 1994 年 3 月, 47p, pp. 20–28, を分担執筆.
- 「『新東欧』と独立国家共同体」, 『いま, なぜ民族か』, 蓮實重彦, 山内昌之編, 東京大学出版会, 1994 年 4 月, 233p, pp. 153–167, を分担執筆.

- 「新封じ込め——ウクライナのゲオポリティカ」、『旧ソ連の地域別研究』, 日本国際問題研究所, 1995 年 3 月, 102p, pp. 19–28.
- 「ドイツにとってのウクライナ, あるいはウクライナから見たドイツ」、『ドイツ研究』, 20 号, 1995 年 6 月, pp. 47–53.
- 「パンテレイモン・クリシのウクライナ観」、『講座スラブの世界 2』, 原暉之, 山内昌之編, 弘文堂, 1995 年 9 月, 379p, pp. 201–231, を分担執筆.
- 「ウクライナ人とロシア人」、『強者の論理 帝国主義の時代』, 東京大学出版会, 1995 年 10 月, 406p, pp. 393–406, を分担執筆.
- 「『新東欧』の登場」、『地域からの東欧史』, 北海道開発問題研究調査会, 1995 年 11 月, 118p, pp. 91–102, を分担執筆.
- 「NATO の東方拡大とウクライナ」、『ウクライナの安全保障』, 日本国際問題研究所, 1996 年 3 月, 98p, pp. 5–15p, を分担執筆.
- 「クリミアにおける民族関係」、『ロシア研究』, 22 号, 日本国際問題研究所, 1996 年 4 月, pp. 43–63.
- 「ウクライナにおける国民統合の困難性」、『国際政治』, 114 号, 1997 年 3 月, pp. 135–150.
- 「クチマ政権の 3 年」、『ウクライナの安全保障』, 日本国際問題研究所, 1997 年 3 月, 94p, pp. 9–18, を分担執筆.
- 「Old Neighbors, New Politics」, *Analysis of Current Events*, v. 9, number 6, 1997, pp. 1–3.
- 「ソ連解体後のロシアと周辺共和国」、『歴史と地理』, 509 号, 山川出版社, 1998 年 1 月, pp. 1–9.
- 「連邦解体新書」、『ODYSSEUS』, 2 号, 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻, 1998 年 3 月, pp. 6–29.
- 「Ukraina i Japonia」, *Dyvo Slovo*, Number 510, Ministerstvo Osvita Ukrainy, August 1999, pp. 62–63.
- 「民族問題の過去と現在」、『岩波講座 世界歴史 27』, 岩波書店, 2000 年 2 月, 337p, pp. 199–217, を分担執筆.
- 「旧ソ連地域におけるエスニック紛争の構造」、『国際問題』, 483 号, 2000 年 6 月, pp. 15–26.
- 「地域の再発見: ウクライナ」、『地域への展望』, 山川出版社, 2000 年 12 月, pp. 1–26, を分担執筆.
- 「Taras Shevchenko i Rossiiska Imperia」, *Novy mir istorii Rossii: Forum iaponskikh i russkikh istorikov*, AIRO (Moscow), 2000, pp. 324–336.
- 「ウクライナの「オレンジ革命」」、『世界』No. 736, 岩波書店, 2005 年 2 月, pp. 29–32.
- 「ウクライナの大統領選挙と民主化」、『最近の世界の動き XV』, 山川出版社, 2005 年 4 月, pp. 6–13.
- 「ウクライナの民主化」、『民主主義体制定着の条件に関する比較研究』, 平成 14 年度—平成 16 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B) (2)) 研究成果報告書, 2005 年 4 月, pp. 127–144.
- 「クリミア・タタール」、『講座 世界の先住民族 ファースト・ピープルズの現在 06 ヨーロッパ

- パ』, 明石書店, 2005 年 7 月, pp. 385–399.
- 「動き始めた新生ウクライナ」, 『SQUET』, No. 189, ダイヤモンドビジネスコンサルティング, 2005 年 9 月, pp. 14–15.
- 「ウクライナの民主化」, 『民主主義アイデンティティ』, 早稲田大学出版部, 2006 年 4 月, 194p, pp. 145–164, を分担執筆.
- 「Ukraina i Yaponia」, *Ukrains'ka Orientalistyka*, Kyiv, 2008, pp. 137–141.
- 「旧ソ連地域における紛争とその後」, 『「破綻国家」の生成と再生をめぐる学術研究』, 科学研究費補助金研究成果報告書, 2009 年, pp. 81–93.

## 書評

- 「Jurij Borys, The Sovietization of Ukraine, 1917–1923」, *Harvard Ukrainian Studies*, v. V, Number 2, June 1981, pp. 278–279.
- 「Hryhorii Kostiuk, Okajanni roky」, *Harvard Ukrainian Studies*, v. V, Number 3, September 1981, pp. 404–405.
- 「Book Review: Ukrainian Church History」, *Acta Slavica Iaponica*, Tomus 25, The Slavic Research Center, Hokkaido University, 2008, pp. 235–237.

## 国際学会講演・発表

- 第一回国際ウクライナ学会, キエフ市, 1990 年 8 月, 発表「Ukrainoznavstvo v Japonii」
- 第二回国際ウクライナ学会, リヴィウ市, 1993 年 8 月, 発表「Ukraina jak tsentr ‘Novoi Skhidnoi Evropy」
- 第三回国際ウクライナ学会, ハリコフ市, 1996 年 8 月, 講演「Ukraina v zmini svity」
- 第四回国際ウクライナ学会, オデッサ市, 1999 年 8 月, 講演「Ukraina I Japonii」, 発表「Pavlyk i Marx」

## その他

- 「アメリカのなかのウクライナ, そして日本」, 『窓』, 45 号, ナウカ, 1983 年 6 月, pp. 14–19.
- 「ウクライナ語」, 『言語』, 20 巻 5 号, 大修館書店, 1991 年 5 月, pp. 40–41.
- 「リヴォフ」, 『ブックレット』, 98 号, 三省堂, 1992 年 5 月, pp. 102–109.
- 「粛清された文字」, 『日本語』, 5 巻 5 号, 1992 年 5 月, pp. 66–69.
- 「旧ソ連の民族問題」, 『本の窓』, 110 号, 小学館, 1992 年 5 月, pp. 20–25.
- 「ウクライナがつくり出すもう一つの『東欧』」, 『世界週報』, 時事通信社, 1992 年 6 月, pp. 14–19.
- 「ウクライナに核保有国になる意志はない」, 『世界週報』, 時事通信社, 1993 年 7 月, pp. 28–31.
- 「ウクライナ」, 『世界』, 590 号, 岩波書店, 1994 年 1 月, pp. 145–152.
- 「クリミアの憂愁」, 『UP』, 279 号, 東京大学出版会, 1996 年 1 月, pp. 11–17.

「警官強盗と黄金の修道院」,『UP』, 320号, 東京大学出版会, 1999年6月, pp. 6-12.

「ベラルーシ人・ウクライナ人とロシア人の違いについて教えてください」,『歴史と地理』, No. 599, 山川出版社, 2006年11月, pp. 52-54.